

海南高等学校（定時制）

実施日時	平成30年 9月 7日（金）、11月 2日（金）
参加者	1回目：生徒13名、教職員10名 2回目：生徒13名、教職員10名 総計 46名
実施内容	南海トラフ地震の説明、避難訓練（シェイクアウト含む）、第二避難場所の説明と避難カードによる講習、地震・津波について視聴覚教材視聴

事前の取組

① 現職教育

- 平成30年度版県立海南高校定時制危機管理マニュアルの講習を行い、災害時における教職員の役割分担及び教職員の対応等の共通理解
- 避難経路の確認及び安全チェック等

② 参考事例

- 平成30年度県立海南高校定時制危機管理マニュアル
- 青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのちひろめるぼうさい」
- 津波防災啓発DVD「犠牲者”ゼロ”をめざして」～巨大津波を生き抜く授業～
- 私は逃げるよ！だから家族で決めた避難場所であおうね！！ 資料等

主なプログラム

1回目：

1限目 南海トラフ地震についての説明とシェイクアウト

2・3限目 避難訓練、第二避難場所の説明と避難カードによる講習

3・4限目 地震・津波について視聴覚教材

2回目：

文化祭を行っている最中に急に巨大地震が発生したと想定して、生徒には事前予告なしに緊急でシェイクアウトの訓練及び、片田教授の避難三原

則並びに各家族等の避難場所の確認

参加者感想文

- 今日の防災訓練をもとに、ちゃんと避難場所等を改めて確認しようと思いました。
- どこで地震が起きたとしても、落ち着いて行動できるようにしたいと思いました。
- 津波が起きて、その時の状況に応じた対処が必要だとわかりました。
- 防災はとても大切だと思いました。映像を見てとても怖いことがわかりました。
- 今日の授業を受けて、地震や津波がどれだけ怖いのか理解できました。
- 自分は津波が来たら、家族とあらかじめ避難場所を確認しておいて、逃げようと思いました。
- 家族としっかり避難場所を話し合っておいて、自分の命は自分で守りたいと思いました。
- もし、地震が来たときは訓練したことを思い出して行動したいと思います。

成果と課題

昨年度に引き続き定時制単独で避難訓練を行った。平成30年度危機管理マニュアルをもとに、避難時における教職員の役割分担や津波が起こったときの避難場所及び避難経路について現職教育を行い、教職員全員の共通理解を図ることにより、昨年度より深く研修することができた。また、防災訓練を繰り返すことにより生徒の防災に対する意識が自然と生まれ、機敏に対応できるよ

うになった。課題としては、津波のレベルや到達時間、災害の度合い等によって、第一避難場所がよいのか、第二避難場所がよいのか判断材料を増やしていかなければならない。

